

# 水素カプセルを増産

## エイム、山梨に新工場

6億円投資

板金加工や溶接機製造のエイム(東京都青梅市)は疲労回復などの目的で

水素と酸素を吸収できる「水素カプセル」を増産する。山梨県鳴沢村に約6億円を投じて新工場を建設。10月から本格稼働する。酸素カプセルはジムやエステなどで普及しているが、水素も吸収で

きる装置は珍しく、国内外の需要拡大に対応する。既存の板金工場(鳴沢村)の隣接地、約2000平方メートルを購入し、延べ床面積1600平方メートルの3階建て工場を建設した。生産などに携わる従業員数も2倍以上の25人にして、生産能力は従来比5倍の月40台に増える。

座席型462万円販売する。マーケティングのため東京・銀座で直営しているサロンでは、会社員やスポーツ選手、主婦ら月400人ほどが利用している。認知度向上に伴って引き合いが高まり、生産能力が逼迫。納期が3カ月待ちとなっている。欧州やアジアでも需要が強く、米国にも24年以降に本格輸出するため米食品医薬品局(FDA)の承認取得をめざしており、増産を決めた。

2016年に水素と酸素を同時に高気圧(1・3気圧前後)で吸収できるアルミ製カプセル装置を開発した。酸素だけ吸収する従来機に比べ、水素は抗酸化作用が期待できるといふ。主にジムやエステサロンにベッド型

374万〜385万円、